

2020年春にJR常磐線佐貫駅の駅名が「龍ヶ崎市駅」に変わることにあわせて、佐貫駅や常磐線の歴史を振り返る連載コラムを掲載。第2回は駅名についてです。

前回のコラムを見た方から、「龍ヶ崎市にあるのになぜ佐貫駅？」とのコメントをいただきました。今回の“佐貫駅ヒストリー”は、なぜ「佐貫駅」と名付けられたかを紐解きます。

1町6村の合併で生まれた龍ヶ崎市

龍ヶ崎市が生まれたのは、昭和29年3月20日。合併で稲敷郡駒柴村、大宮村、八原村、長戸村、北相馬郡北文間村、川原代村が龍ヶ崎町へ編入され、誕生しました。さらに昭和30年2月に北相馬郡高須村の一部が編入されて、現在の龍ヶ崎市になりました。



▲平成30年

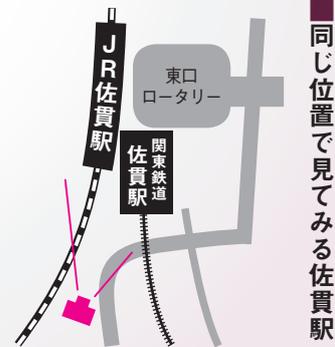
▼昭和55年頃



駅開業時の所在地は駒柴村佐貫

JR常磐線佐貫駅の誕生は明治33年。開業当時は龍ヶ崎市誕生前であり、稲敷郡駒柴村佐貫が駅の所在地でした。そのため、近隣のほかの駅名と同様に、所在地の町の名前である“佐貫”を冠する駅名「佐貫駅」と名付けられたとされています。

駒柴村の合併を経て、龍ヶ崎市内に所在することとなった佐貫駅は、市の玄関口として、まちの発展や市民の通勤・通学を見守ってきました。



龍ヶ崎市公式 Twitter、ご存じですか？

■問い合わせ：シティセールス課 ☎内線 377

市では、さまざまなイベント情報やお知らせのほか、災害時にも情報収集できるよう、SNSを活用しています。この機会にぜひ、フォローしてみてください！

■ Twitter @ryugasaki_city

市のさまざまなイベント情報やお知らせを発信しています。さんさん館のイベント情報や地元で観られる流通経済大学の試合情報などもツイート！ 災害時にはいち早く避難情報などもツイートしています。

■災害時は「#龍ヶ崎市災害」で情報共有！

災害時には、交通情報や避難情報などを「#龍ヶ崎市災害」のハッシュタグを付けてツイートしています。

災害時の情報収集などに、ぜひご活用ください！

■「#龍ヶ崎市災害」利用時にお願いしたいこと

市内での被災箇所情報などがありましたら、タグを付けてツイートしていただくと、市と共有できます。

例えば…市内で倒木などの被害を目撃した場合

- 住所
- 目標物名を記入または位置情報を ON
- 被害写真・状況
- #龍ヶ崎市災害 を含めてツイート

投稿はこんな感じで！

